

7 産科施設における母乳育児の支援状況

(1) 妊娠中の母乳育児支援の状況

<病院> 妊婦が母乳育児への要望を出した場合、回答施設数 637 施設のうち、553 施設 (86.8%) はその要望を受け入れると回答した。また、母乳育児の利点については、617 施設 (96.9%) は妊婦のほぼ全員に伝えていると回答した。母乳育児について、乳管開通を目的とした具体的な方法を伝えている施設は 593 施設 (93.1%) であった。

また、妊婦が「母乳育の児利点」を「十分に理解している」と回答した施設は 93 施設 (14.6%)、「ほぼ理解している」は 512 施設 (80.4%) であった。

<有床診療所> 妊婦が母乳育児への要望を出した場合、回答施設数 156 施設のうち、141 施設 (90.4%) はその要望を受け入れると回答した。また、母乳育児の利点については、151 施設 (96.8%) は妊婦のほぼ全員に伝えていると回答した。母乳育児について、乳管開通を目的とした具体的な方法を伝えている施設は 140 施設 (89.7%) であった。

また、妊婦が「母乳育児利点」を「十分に理解している」と回答した施設は 34 施設 (21.5%)、「ほぼ理解している」は 109 施設 (69.9%) であった。

(2) 分娩直後の母乳育児支援状況

正常経膈分娩の場合、「ほぼ全例に、分娩後 30 分以内に母子のスキンシップを行い、スタッフが授乳の援助をしている」と回答した施設は病院では 451 施設 (70.8%)、有床診療所では 116 施設 (74.3%) であった (図 7)。

分娩後 30 分以内に母子のスキンシップと授乳の援助をしていない理由としては、病院では人員不足があげられ (表 7)、有床診療所についても同じ傾向であった。

図 7 分娩後 30 分以内の母子のスキンシップと授乳の援助

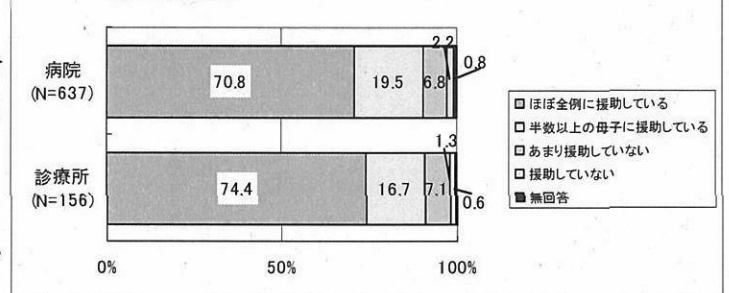


表 7 分娩後 30 分以内の母子のスキンシップと授乳の援助できない理由 (病院 n=632)

もっともあてはまる理由			2 番目にあてはまる理由		
順位	項目	回答数	順位	項目	回答数
1	人員不足	102	1	赤ちゃんを観察するため	49
2	産婦や家族が希望しない	21	2	管理上の問題	22
3	管理上の問題	15	3	病院の方針や慣習	20
3	その他	15	4	母体の疲労回復のため	15
5	母体の疲労回復のため	11	5	その他	14
5	設備上の問題	11	6	産婦や家族が希望しない	9
7	赤ちゃんを観察するため	9	6	医師の方針	9
8	病院の方針や慣習	7	8	人員不足	8
9	医師の方針	6			

資料：平成 18 年度児童関連サービス調査研究等事業「母乳育児推進に向けた支援方策に関する調査研究」(主任研究者 谷口千絵)